

Hara Museum of Contemporary Art

Press Release 2010/09/09

死なない子供たち—荒川修作ドキュメンタリー映画上映会
意味のメカニズムから三鷹天命反転住宅まで
2010年9月23日[木・祝] 原美術館（東京都品川区）



三鷹天命反転住宅
写真提供:株式会社 ABRF

この度、原美術館では、荒川修作ドキュメンタリー映画「死なない子供たち」の上映会を開催いたします。（監督:山岡信貴、音楽:渋谷慶一郎、ナレーション:浅野忠信）

原美術館にとってコレクション作家あり、展覧会作家でもある荒川修作氏が、本年5月、73歳で急逝されました。

2005年に竣工された荒川による建築作品「三鷹天命反転住宅」は、現在も、住居や荒川修作とマドリン・ギンズの日本事務所（株式会社 ABRF）として使用されており、その特異な外観・内観は異彩を放ち続けています。

荒川は生前、この住宅について、「ここに住むと身体の潜在能力が引き出され、人間は死ななくなる」と語っていました。

本編は、コーディネジスト（哲学、芸術、科学を総合し、実践する者）を自認した荒川自身をはじめ、宇宙物理学者である佐治晴夫氏、ここで生まれ育った子供たちに代表される天命反転住宅の住人達のインタビューなどを交え、ドキュメンタリーとして構成されています。

奇しくも、荒川の亡くなる直前にクランクアップされた「死なない子供たち」。その劇場公開に先駆けて行われる今回の上映会は、美術関係者や荒川ファンはもとより、多くの美術・建築愛好者に、ユニークなコンセプトと独特な語り口で知られた荒川を、それぞれが自分自身の目線で再検証する、貴重な機会を提供することでしょう。

なお、映画上映後、「死なない子供たち」の監督であり三鷹天命反転住宅の住人でもある、山岡信貴氏によるアフタートーク（作品解説）を予定しております。（本編上映時間:80分間、アフタートーク約15分間、言語:日本語）

【開催要項】

イベント名	死なない子供たち—荒川修作ドキュメンタリー映画上映会 意味のメカニズムから三鷹天命反転住宅まで
日時	2010年9月23日[木・祝] 15:00—17:00
参加費	一般 ¥2,000・学生 ¥1,700(原美術館入館料を含む)、原美術館メンバー ¥1,000 ※上映前に開催中の展覧会「崔在銀 展—アショカの森—」もご覧いただけます。
主催/会場	原美術館（会場 ザ・ホール）東京都品川区北品川 4-7-25 http://www.haramuseum.or.jp http://mobile.haramuseum.or.jp
協力	株式会社 ABRF、有限会社リタピクチャル
ご予約・お問い合わせ	原美術館 Tel: 03-3445-0669 e-mail: info@haramuseum.or.jp
交通案内	JR「品川駅」高輪口より徒歩 15分／タクシー5分／都営バス「反 96」系統「五反田駅」行き、 「御殿山」停留所下車、徒歩 3分

【本イベントについてのお問い合わせ】

原美術館 野田・松浦(広報)/青野(本イベント担当) Tel: 03-3280-0679 Fax: 03-5791-7630 (いずれも広報直通/掲載の際には代表番号をご掲載ください。) E-mail: press@haramuseum.or.jp

<原美術館および別館ハラ ミュージアム アークはブログ形式で情報発信中。 <http://www.art-it.asia/u/HaraMuseum>>